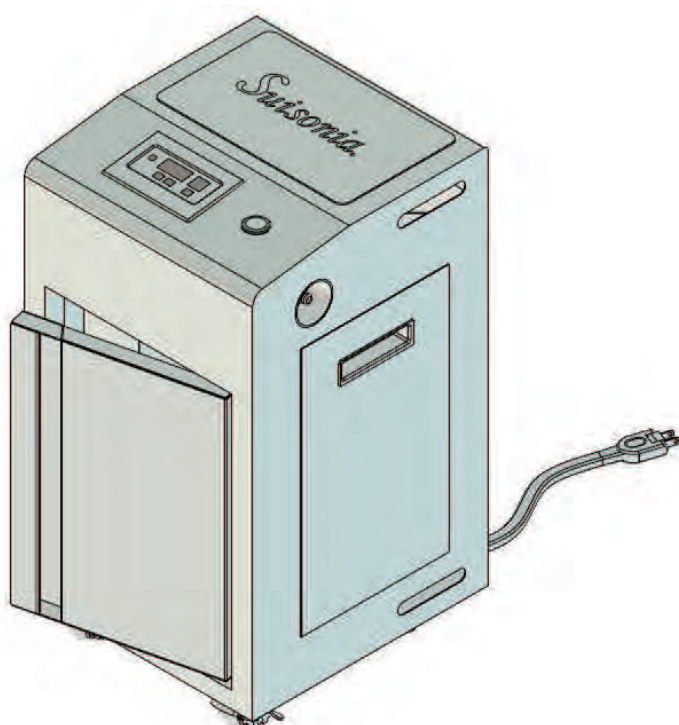


取扱説明書



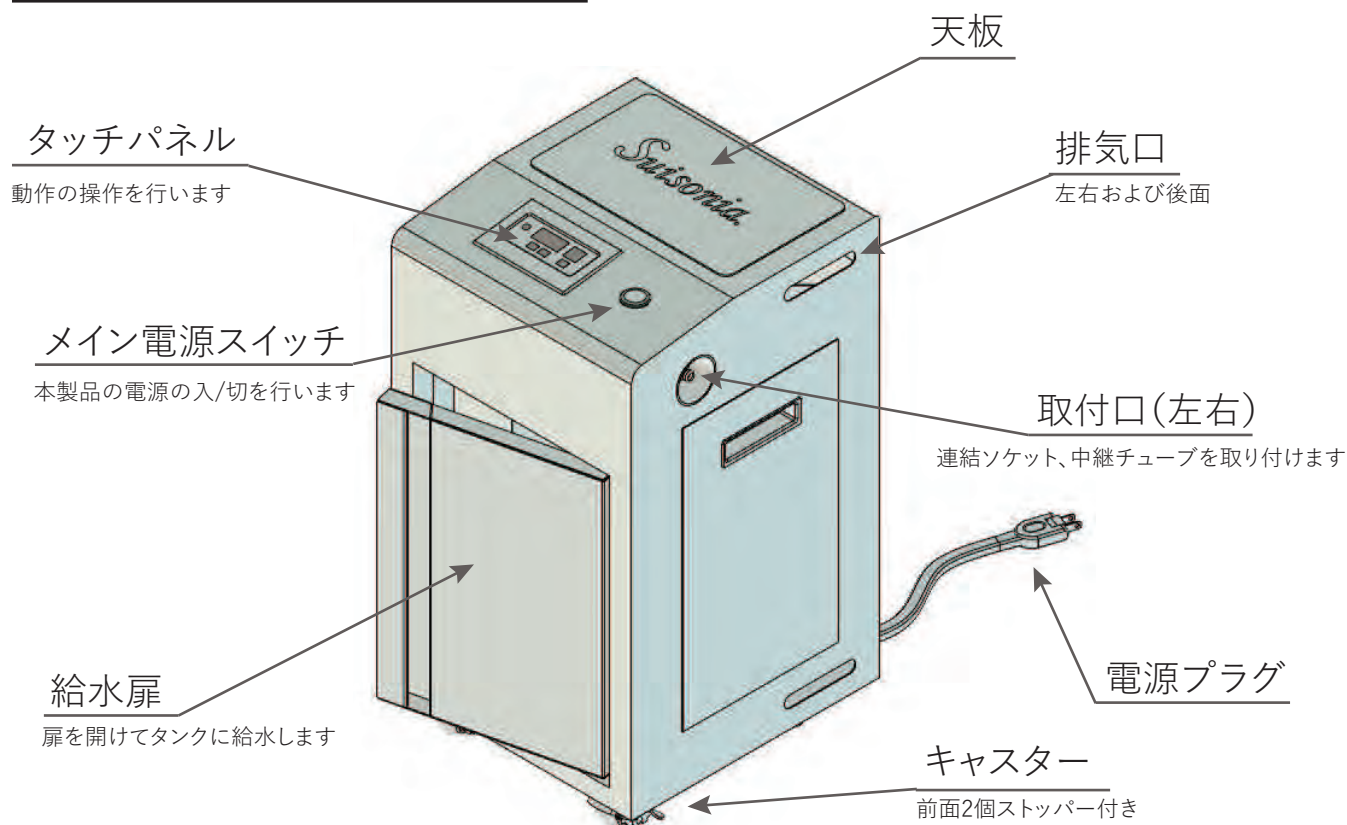
目次

各部の名称とはたらき	2
お使いになる前に	3
ご使用方法	4
水タンクの構造・水不足について	7
ヒーターカートリッジ交換方法	9
お手入れの方法・エラー表示	12
故障かな?と思ったら	13
保管について	13
別売品について	13
仕様	13
安全上のご注意	14
保証とアフターサービス	16

この度は、suisonia (スイソニア)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- ・ 取扱説明書をよくお読みのうえ正しく安全にご使用ください。
- ・ ご使用の前に「安全上のご注意」(14～15)を必ずお読みください。
- ・ 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめください。

各部の名称とはたらき



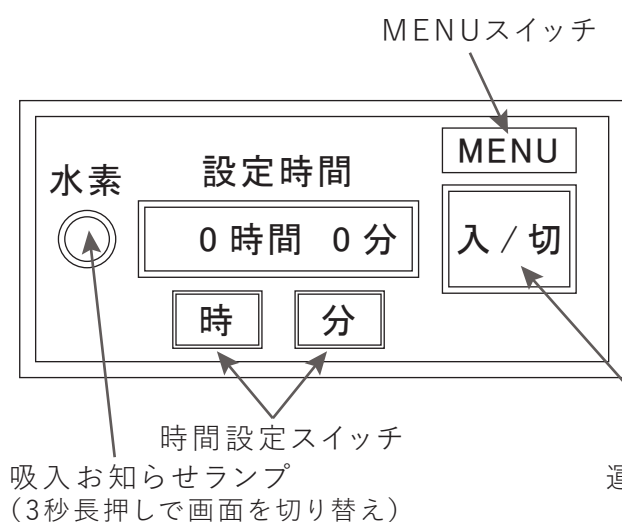
付属品

- ・取扱説明書(本書、保証書付き)×1部
- ・添付文書×1枚
- ・電源コード
- ・パリレン中継チューブ1.0m×1本
- ・パリレン吸入チューブ×2本
- ・連結ソケット×1個

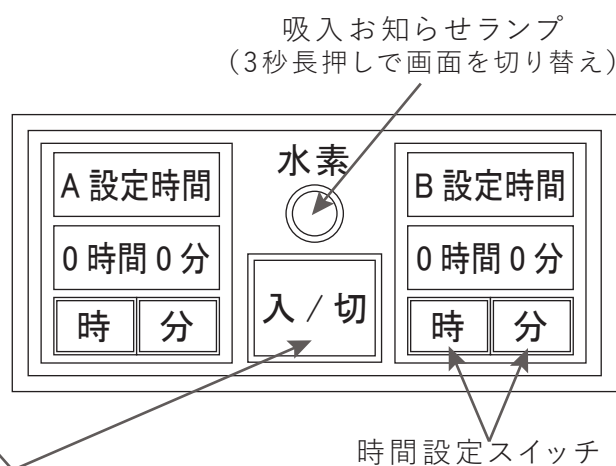
タッチパネル

※出荷時は通常画面に設定しています。

通常画面



2面タイマー画面



お使いになる前に

■設置のしかた

本製品はボックス内にヒーターを使用していますので、運転時は両側面および後面の熱風排気口より40℃前後の熱風を排気します。

設置の際は、壁面や家具面から50cm程の距離を置いて床と水平に据付けてください。

据付後は下部の前側キャスターのストッパーを下に押ししてロックしてください。

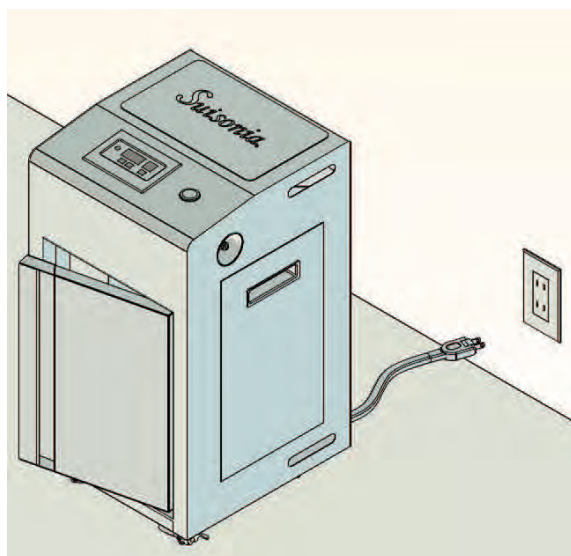


設置できない場所 ※次の場所には設置しないでください。

・浴室などの湿気の多い場所 ・ホットカーペット上 ・暖房器具のそば

■電源の接続

設置が完了したらケース後面に電源コードを取り付け、電源プラグをコンセントに差し込んでください。



「電源、接触不良、火災の原因」

本体右後部の差し込み口へ電源コードを差し込みます。

約2cmほどしっかり奥まで差し込んでください。

ちょっとした移動によって、差し込みが浅いと接触が悪くなり電源が入らない場合があります。

※注意

本製品のコンセントが元電源から遠い場合(10m以上)は、電線が細いと電圧降下を起こし、温度が十分に上がるまでの時間が長くなりますのでご注意ください。本製品は、電源接続時は常に通電状態となります。長時間ご使用にならないときは、電源コードを抜いてください。

■チューブの接続

取付口に連結ソケットをカチッと音がするまで差し込み、中継チューブと吸入チューブを接続してください。

※吸入しない方の取付口には、連結ソケットを接続しないでください。

■室内の移動

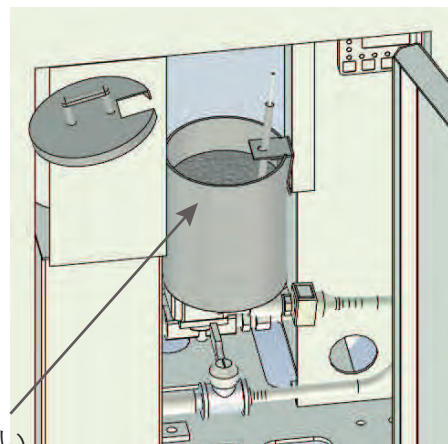
キャスターが装備されておりますので、転がして移動させてください。

ご使用方法

水タンクに給水します

- ①メイン電源スイッチを入れます。
スイッチが点灯します。
- ②本体前面の給水扉を手前に引いて開きます。
- ③水タンクのフタを外します。
- ④水タンクに水を注ぎます。
(初回、2～3回に分けての給水が必要です)
- ⑤装置内で水が満水になると水の流入が停止します。

給水は右図の様に水タンクの半分以上まで給水してください。



- 初期状態の機械に給水する際、水タンクの奥にある内部タンクにも水が入るため、約800mLの水が必要となります。**必ず、電源を入れた状態で給水してください。**
- 2回目以降のご使用の前には、水位を確認いただくことをおすすめします。

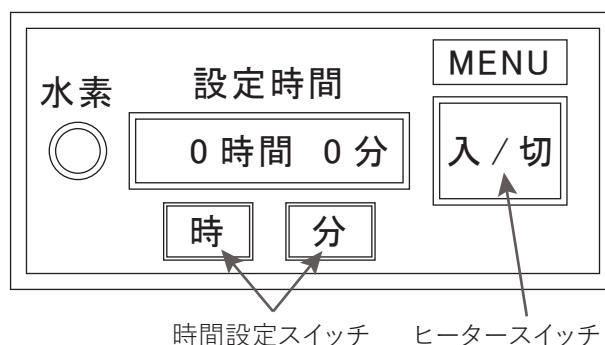


水は精製水を推奨しています。ご準備が難しい場合には、市販のミネラルウォーター(軟水)を使用してください。
カルキ等の不純物が目詰まり、錆を起す原因になります。

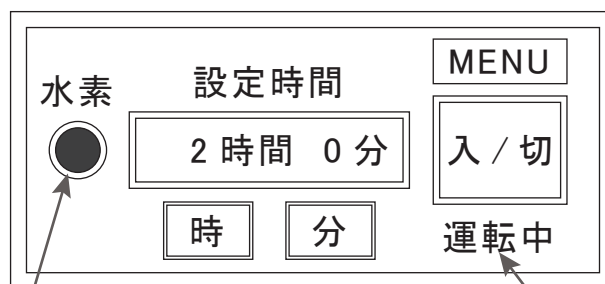
タッチパネル操作を行います

- ①給水完了後、タッチパネル操作を行います。
- ②タイマーの時間を設定します。
時間設定スイッチの「時」「分」を押して
使用時間を設定します。
- ③ヒータースイッチ「入/切」を押します。(1秒長押し)
※図②のように運転中と表示されるとヒーターの
電源が正常に 入ったことを示しています。
- ④ヒータースイッチを押すと天板が斜めに
持ち上がります。(製品内冷却のため)
- ⑤約15分後、ブザー音が鳴り、ランプが点滅します。
タイマーがスタートして吸入が可能になります。
※連続して吸入する場合は、ヒーターの温度が高
くなっているので、すぐに点滅が始まり吸入できます。

図① メイン電源スイッチを入れた時の状態



図② ヒータースイッチを入れた時の状態



ランプが点滅すると吸入できます。「運転中」と表示されます。

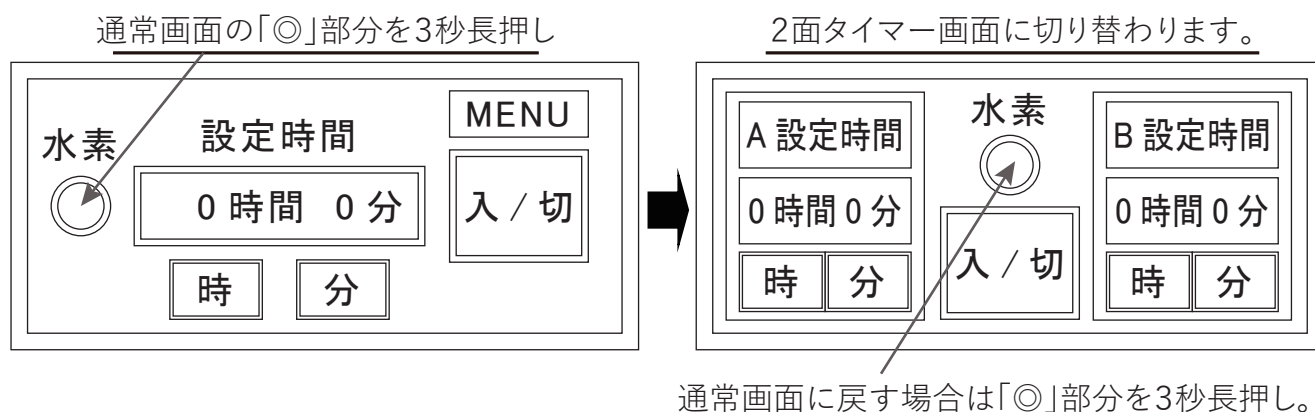
2面タイマー画面に切り替える場合のタッチパネル操作

①タッチパネルの「◎」部分を3秒押しして2面タイマー画面に切り替えます。

※タイマー切り替え画面は、お二人様が別々の時間帯に使用される場合に、それぞれの使用時間が管理できるように使用する場合に適しています。

注意：お二人様で同時に吸入する場合、機器から送出される流量は、約半分になります。

吸入する時間を2倍にすることによって、通常のお一人様の吸入量と同じになります。



②画面が切り替わり、お二人様で使用する場合の時間設定ができるようになります。

③吸入を開始するA側またはB側の時間設定スイッチを押して時間を設定します。

※両側同時に使用する場合にA側、B側両方の時間を設定してください。

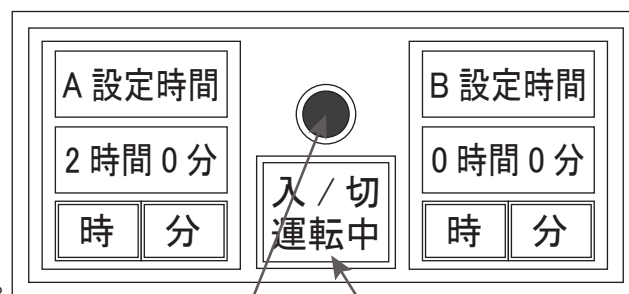
④ヒータースイッチを押します。(1秒長押し)

※右図のように運転中と表示されればヒーターの電源が正常に入ったことを示しています。

⑤約15分後、ブザー音が鳴りランプが点滅します。タイマーがスタートして吸入が可能になります。

※連続して吸入する場合は、ヒーターの温度が高くなっていますので、すぐに点滅が始まり吸入できます。

ヒータースイッチを押した時の画面



「運転中」と表示されます。

ランプが点滅すると吸入できます。

※片側で使用中に、もう片側を使用する場合は、使用していない側の時間設定スイッチを押して使用時間を設定すればタイマーの使用が可能になります。

連続して運転したい場合

連続で運転を行う場合には、再度、時間設定を行い、ヒータースイッチ「入/切」を押してください。

タイマーが終了した場合

ブザー音が鳴り、天板が下がります。「運転中」表示が消え、吸入終了です。ヒーターの温度が下がり始めます。

運転を途中で止めたい場合

運転途中で停止したい場合は、ヒータースイッチ「入/切」を押してください。「運転中」表示が消えるとヒーターが正常に停止していることを示しています。

運転中のタッチパネル画面表示について

タッチパネル画面は、触らない状態が10分間続くと、タッチパネル内の明かりが自動的に消えます。(再び画面をタッチするとスリープモードは解除されます)

メイン電源スイッチを入れると、ファンが常時作動します

装置を冷却するため、メイン電源スイッチを入れるとファンが常時作動します。運転後は、装置内の温度が上がっている状態です。装置の温度が冷えるまでメイン電源スイッチを切らないでください。故障の原因となります。

製品の特性上、結露が発生します

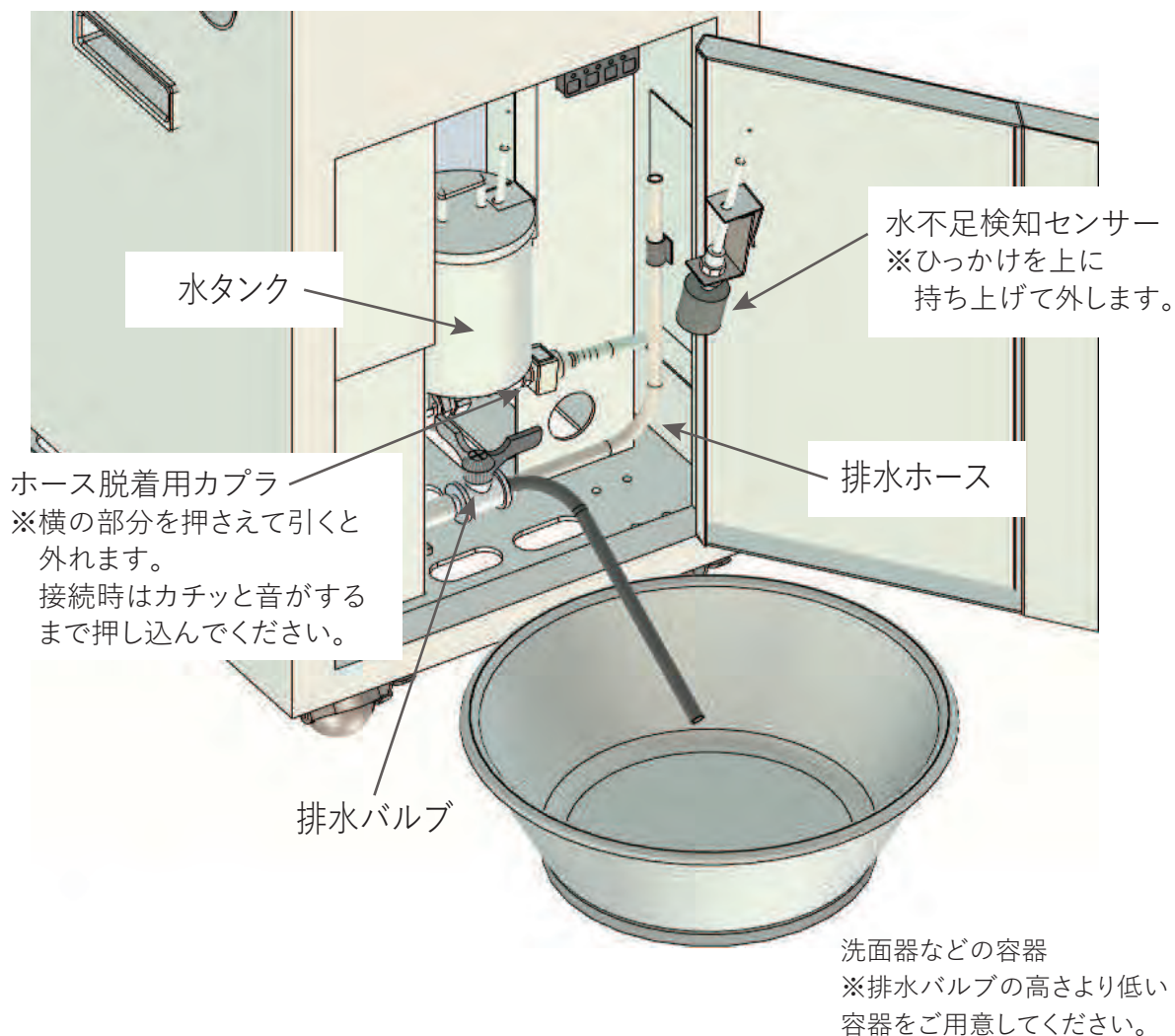
製品の特性上、結露が発生します。
製品を使用される環境温度によって結露量は変わってきますが、製品の使用前、もしくは一定時間(2時間程度)の使用後には、結露を取り除いてください。
※定期的に結露のチェックを行うことを推奨します。

製品の特性上、運転中、においを感じる場合があります

新品でご使用になる際、カートリッジを交換した際、また、運転を開始した際に温泉のようなにおいを感じる場合があります。製品の特性上、カートリッジを新しく交換した時に特に感じやすくなります。
個人差によって、“気になる、気にならない”といったことがありますが、数時間の運転でにおいは軽減されます。
※気になる方は、“連結ソケット”のみを接続した状態で一定時間運転させ、吸入してください。

給水タンクの構造・水不足について

給水タンクの構造



水不足エラー表示とブザー音

- 運転を長時間続けると水タンクの水位が下がり水不足検知センサーが作動してタッチパネルに水不足エラーが表示され、ブザー音(5秒間)でお知らせします。
 - 水を補給すると自動的に水不足エラー表示が消えて自動運転が続行できます。
 - ブザー音を止めたいときは、タッチパネルに表示された「リセット」スイッチを押すとブザーが停止します。
- ※水不足エラーが出ても給水しない場合、安全装置が作動し10分後にヒーターの電源が切れ、自動運転が停止し、天板が下がります。

水の排水と水タンクの外し方



十分に製品が冷めていることを確認してから、水の交換や水タンクの取り外しを行ってください。

清掃等のため水タンクを外す時は、水タンク内の水を排水してください。

- ①容器の大きい洗面器などを用意します。
- ②メイン電源スイッチを押します。メイン電源スイッチがON状態でないと水タンク内の排水ができません。
- ③排水バルブを「閉」にします。(7ページの図は「開」の状態です。)
- ④排水ホースをホースホルダーから取り外し、図(7ページ)の様に洗面器などの容器に向けてから、排水バルブを「開」にすると少しずつ排水しますので、水が出なくなるまで排水します。
※洗面器などの容器は、排水バルブの高さより低い物を用意して下さい。
※こぼれやすいため、洗面器の交換は早めに行ってください。
- ⑤水が出なくなったら排水ホースをホースホルダーに戻し、水不足検知センサーを上引き上げて外します。
- ⑥水タンク下のホース脱着用カプラの横の部分を両指で押さえて引くと、連結ソケットが外れます。
- ⑦水タンクを上少し持ち上げ、ひっかけを外し手前に引くと水タンクが外れます。
- ⑧水タンクを洗浄して、清潔な布等で拭いてください。
その後、⑥の連結ソケットを接続し、⑦のひっかけに取り付けてください。

水の交換時期

水タンク、本体内部の水は定期的に交換してください。
(週に一回程度、もしくは累計使用時間30時間経過後をおすすめします。)

ヒーターカートリッジの交換方法

運転が300時間経過する毎に、「ヒーターカートリッジ交換時期」をお知らせする画面がタッチパネルに表示され、ブザー音が鳴ります。表示された場合、ヒーターカートリッジを交換してください。

用意するもの

- ヒーターカートリッジ
(別売品)



軸が短い方が上方向です。
※向きにご注意ください。



- ・運転中は絶対に行わないでください。
- ・完全に製品が冷めていることを確認した上で作業を行ってください。

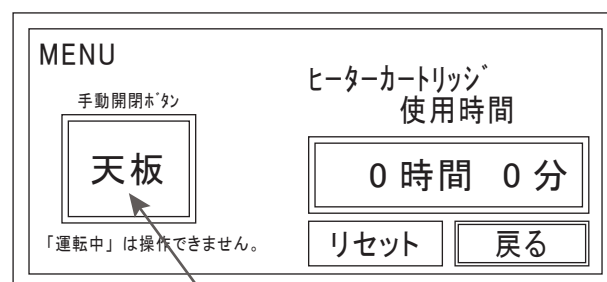
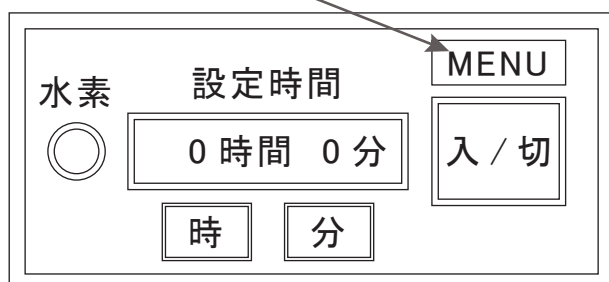
※300時間を超過すると故障の原因になりますので、ご注意ください。

タッチパネルを操作し、天板を外します

メイン電源スイッチを入れ、タッチパネル内の「MENU」スイッチを1秒長押ししてMENU画面に切り替えます。

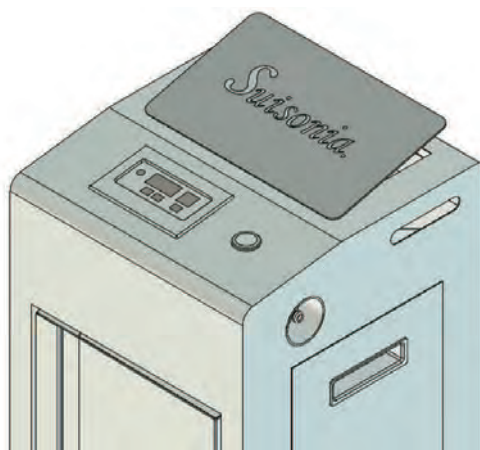
※2面タイマー画面の場合は、MENUスイッチは「水素」の文字を1秒長押しして切り替えます。

①「MENU」スイッチを押します。



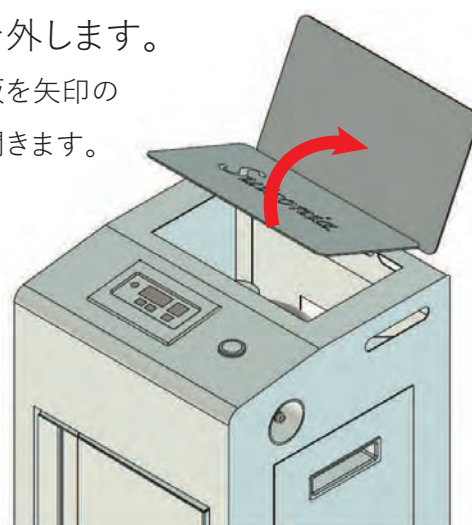
②天板スイッチを1秒長押しします。

③天板が自動で開きます。



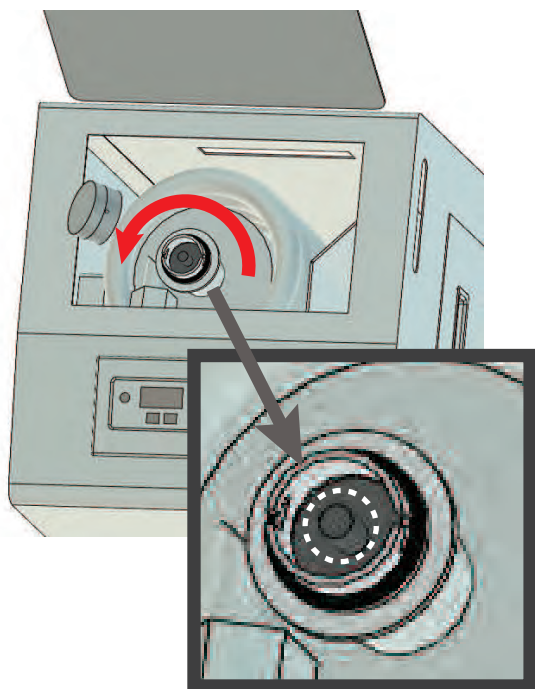
④天板を外します。

手で天板を矢印の
方向に開きます。



※「運転中」は操作しないでください。
故障やケガの原因になります。

ヒーターカートリッジを交換する



④ キャップを取り外します。

矢印の方向にキャップを回して引き上げます。
中央にヒーターカートリッジが出てきます。

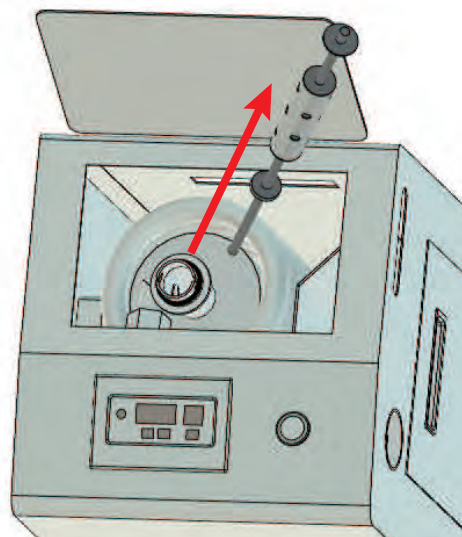
※ゴムパッキン(黒いOリング)が管上部に入っています。回すのが固い場合がありますが、無理に取り外すことはお止め下さい。
故障の原因となります。

※ドライヤー等でキャップを温めると回りやすくなります。

⑤ ヒーターカートリッジを取り出します。

上部分をつまみ、引き上げてください。
※手でつまめない場合、ラジオペンチ等の
工具で引き上げてください。

※使用済みのヒーターカートリッジ(金物)は
各自治体の取り決めに従って処分してください。

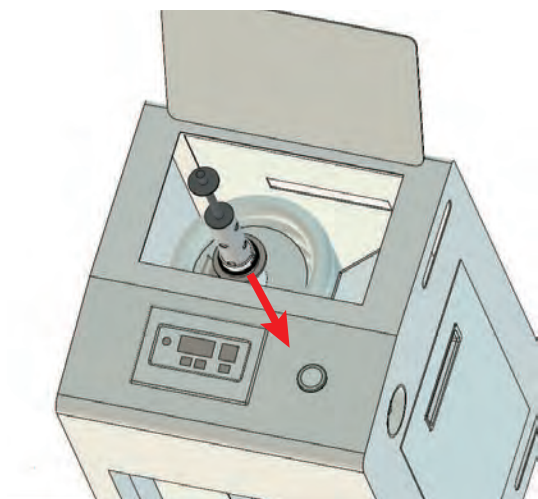


⑥ 新しいヒーターカートリッジを入れます。

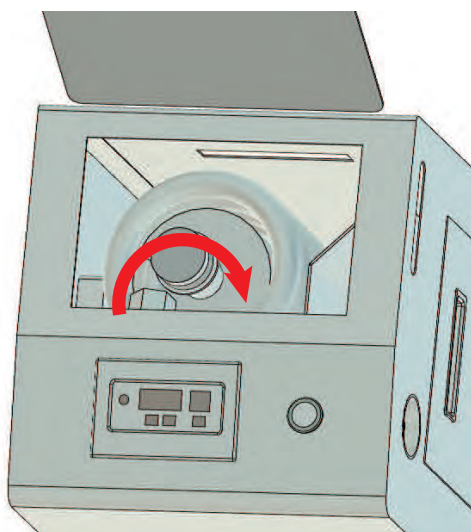
上部分をつまみながら、ゆっくりと入れ込みます。

※軸が短い方が上向きになりますので
入れる方向に気を付けてください。

※構造上、中で引っ掛かりがありますので、
何度か上下させると下部まで入ります。



キャップをはめ込み、天板を戻します。



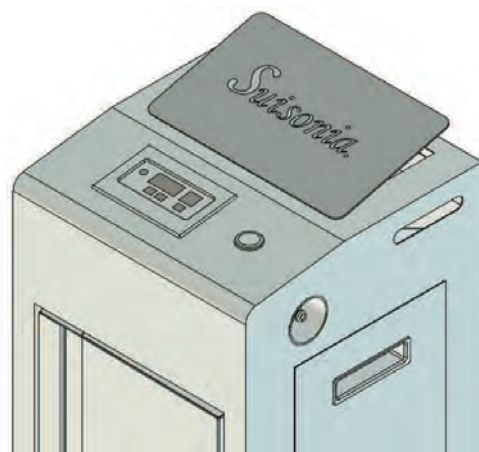
⑦矢印の方向にキャップを回してはめ込みます。

※黒色Oリングが管の上部にはまっていること、
所定の位置にはまっていることを確認してください。

⑧天板を戻します。

天板を元の位置にはめ込んでください。

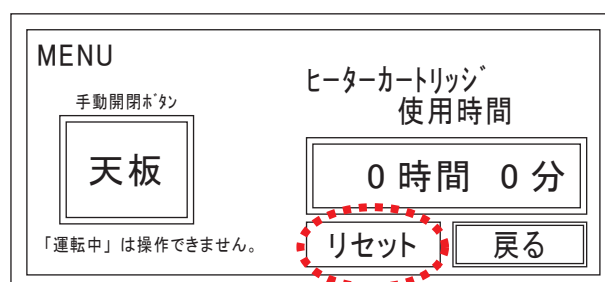
タッチパネルの「天板」スイッチを
1秒長押しして天板を閉めてください。



ヒーターカートリッジの使用時間をリセットする

⑨MENU画面の「リセット」スイッチを5秒長押しすると
使用時間のリセットができます。

リセット後、「戻る」を押すと
元の画面に戻ります。



※リセットするとヒーターカートリッジ使用時間が「0時間」にリセットされますので、
カートリッジ交換時以外はリセットしないようご注意ください。

⑩ヒーターカートリッジ交換作業は完了です。

お手入れの方法・エラー表示

本体のお手入れ

- 軽い汚れの場合は水でぬらした布でふいた後、から拭きをしてください。
- 手あかなどの汚れの場合はスポンジまたは布に中性洗剤をつけてふきとってください。

水タンクのお手入れ

水の交換や水タンクの取り外しは製品が十分に冷めた状態で行ってください。

- 水タンクは水の交換時などに定期的に洗浄することをおすすめします。
- 7ページの「水の排水とタンクの外し方」を参照して定期的に水を排水して水タンクを洗ってください。

エラー表示と故障内容

No	表 示	故 障 内 容
1	ヒーター断線異常	ヒーター故障、電線切れ
2	冷却ファン異常	ファン故障、電線切れ
3	送気ファン異常	ファン故障、電線切れ
4	ケース内温度異常	ファン停止等でケース内の温度が100℃を超えた時に自動停止します。
5	水不足	故障ではなく給水の通知です 給水してください。満水になると自動復旧します
7	ヒーターカートリッジ交換時期	運転が300時間経過した通知です ヒーターカートリッジを交換してください

- No.1～4が表示された場合、ブザー音が鳴り自動的にヒーターの電源が切れます。
タッチパネルに表示された「リセット」スイッチを押し、メイン電源スイッチを入れ直しヒータースイッチを押してください。

復旧しない場合は、表示番号をメモして、メイン電源スイッチを切り、購入先、または、スイソニアカスタマーサービスにエラー番号をご連絡ください。

スイソニアカスタマーサービス:0120-775-665

故障かな?と思ったら

■故障かな?と思ったら次のことをお確かめください。

定期的に「カチッ」と音がる	●制御の構造上のもので機能等に問題はありません
動作しない	●電源プラグが抜けている 抜けかかっている ➡電源プラグを奥まで差し込んでください
エラー表示が出ていないのにすぐ停止する	●タイマー設定が短時間になっていませんか? ➡タイマー設定を長く設定してください

保管について

- 汚れやほこりをとった後、湿気の少ない所に保管してください。
- 直射日光が当たる所、ストーブなどの近くで高温になる所はさけてください。
- しばらくご使用にならない時は水を抜いて、カバーをかけ、ほこりがつかないようにして保管してください。

別売品について

品 名	内 容
ヒーターカートリッジ(消耗品)	300時間の使用で交換してください。(有料)
ヒーター(消耗品)	数年の使用で交換が必要です。 (2年以内かつ累計使用時間2500時間以内は無償) 故障の際は保証期間外であっても交換できます。(有料)
その他電気部品など	故障の際は保証期間外であっても交換できます。(有料)

仕 様

品 名	suisonia(スイソニア)
品 番	FRJ-003
電 源	AC100V 50Hz/60Hz
消費電力	約1kW
消費電流	始動時・連続運転時 約7.5A
排気温度	約40℃前後
製品寸法	幅300mm×奥行310mm×高さ510mm (使用時 幅300mm×奥行310mm×高さ540mm)
製品重量	約19kg

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告 「死亡や重傷を負う恐れがある内容」です。



注意 「傷害を負うことや、財産の損害が発生する恐れがある内容」です。

■お守りいただく内容を図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

警告



■電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

- 傷つける、加工する、熱器具に近づく、無理に曲げる、引っぱる、重いものを載せるなど(傷んだまま使用すると、感電、ショート・火災の原因)
修理はご購入先にご相談ください。

■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外では使わない

(たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因)



■分解や、修理・改造をしない

(発火や異常動作による火災や感電の原因)
修理はご購入先へご相談ください。



■本体は、水につけたり、水をかけたりしない

(ショートによる、火災や感電の原因)



■本体の排気口やすき間にピンや針金、金属、指などの異物を入れない
(内部に触れたり、異常動作して、感電やけがの原因)

■本体内部に紙やストローなどの可燃物を入れない
(過熱して、火災の原因)

■排気口や空気取入口をふさがない
(過熱して、火災の原因)

■排気口は高温になるため、触れたり覗いたりしない。

■子どもだけで使ったり、幼児の手の届く場所では使わない
(やけどやけが、感電の原因)

■使用中や使用直後は、本体内部のコイルやアルミフレキ管などに触れない
(やけどの原因)

■磁力線が出ているため、磁気に弱いものを近づけない
(テレビ・ラジオ・時計・カード類など)



■電源プラグは根元まで差し込む
(差し込みが不完全な場合、感電や発熱による火災の原因)

●傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使わない

■電源プラグを抜き差しするときは、必ず運転を止めてからおこなう
(プラグの刃やコンセントが傷み、火災の原因)

■電源プラグのほこり等は、定期的に取り取る

(ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良による火災の原因)

●電源プラグを抜き、乾いた布で拭く。

●使用時以外は、電源プラグを抜く。



■異常時(こげくさいニオイなど)は運転を停止して、電源プラグを抜く
(発煙・発火・感電・けがの原因)

●すぐに電源プラグを抜いて、お買い上げのご購入先、または「カスタマーセンター」へ点検・修理を依頼してください。

警告



- 心臓用のペースメーカーをお使いの方は、本製品のご使用にあたって必ず医師に相談する(ペースメーカーに影響を与える原因)
- 医師の治療を受けている人は、必ず医師に相談のうえ使用する
- 乳幼児、妊娠の可能性のある人の使用は控える
- 動かなくなったり異常がある場合は、すぐに電源プラグを抜いて購入先に点検修理を依頼する(感電やショート、火災の原因)
- 使用中、身体の痛みやしびれ、めまい、動悸などの異常を感じた時は直ちに使用を中止する



- 電源プラグは、ぬれた手で抜き差ししない
(電源プラグや手に付いた水で感電の原因)



- お手入れ時は、電源プラグを抜く
(不意に動作して、感電やけが、やけどの原因)

注意



- 使用の目的以外には使用しない
(故障や事故の原因)
- 装置動作中に電源プラグを抜かない
(電源プラグや手に付いた水で感電の原因)
- 本装置を倒したり、強い衝撃を与えない
(故障や事故の原因)
- ストーブなどの火気の近くで使用したりホットカーペット等の暖房器具の上で使用しない
(火災の原因)
- 可燃性のものや火のついたたばこ線香などを本体に近付けない
(火災の原因)
- ベンジン、シンナーで拭いたり、殺虫剤をかけない
(ひび割れ、感電、火災の原因)
- 室内くんじょうタイプ(発煙型)の殺虫剤使用時は運転しない
機械内部に薬剤成分が蓄積し、その後吹出口から放出されて、健康に良くないことがあります。
殺虫剤の使用後は、十分に換気してから運転してください。
- 本体の上に乗る・寄りかかる・ものを置くなどしない
(転倒によるけがや、故障の原因)
- 押し入れ・家具のすき間など、狭い場所で閉め切って使わない



- 水タンク内の水を飲まない、飲ませない
(体調不良の原因)
- 浴室など、湿気の多い場所、水のかかる場所で使わない
(火災・感電・故障の原因)
- 水タンク・カートリッジ・キャップは取り付けて運転する
(故障の原因)



- 電源プラグは、プラグ部を持って抜く
(破損し、感電やショート、火災の原因)
- 長時間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
(絶縁劣化による感電・漏電火災の原因)
- お手入れは、本体を冷ましてからおこなう
(高温部に触れ、やけどの原因)
- 使用中に身体に異常があらわれたり感じたときには、使用を中止し医師に相談する
- しばらく使用しなかった場合、もう一度取扱説明書をよく読み、装置が正常に動作することを確認してから使用する(事故やけがの原因)
- 持ち運ぶときは、本体の指定された箇所を両手で持って運ぶ
(事故やけがの原因)
- 水平な場所で使用する
(故障や事故の原因)

保証とアフターサービス

修理・取扱い・お手入れなどのご相談は、まずご購入先にご連絡ください

- 保証書
お買い上げの際に保証書をご購入先からお受け取りになり「お買い上げ日」「ご購入先名」欄の記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 補修用性能部品の保有期間
当社はこの装置の補修用性能部品を製造打ち切り後、6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

- 12～13ページに従って調べていただき、なお異常があるときは、使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いた上でご購入先にご連絡ください。
- 保証期間中に修理を依頼される場合、ご購入先にご相談ください。保証書の記載の内容に従って修理いたします。
なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- その他ご不明な場合
アフターサービスに関するご相談、ならびにご不明な点は、ご購入先または、カスタマーサービスまでお問い合わせください。
- 保証期間を過ぎて修理を依頼される場合、まずご購入先にご相談ください。
修理により、製品機能が維持できる場合には、ご要望に従い有料にて修理いたします。
- 修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料

診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代

修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料

製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

送料

製品を送付する費用です。

カスタマーサービスのご案内

修理・取扱い・お手入れなどのご相談は、まずご購入先にご連絡ください

取扱い・お手入れなどのお問い合わせ
／平日 9時～17時 ※但し、年末年始を除く

0120-775-665

Suisonia株式会社

〒807-1263福岡県北九州市八幡西区金剛3-5-56

- ご相談窓口における個人情報のお取り扱いについて
Suisonia株式会社はお客様の個人情報やご相談内容をご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。
また、折り返しお電話をさせていただくための、ナンバー・ディスプレイを採用しております。なお個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

保証書

品番:FRJ-003

この度は、suisonia(スイソニア)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

保証期間期間内に取扱説明書に従った正常なご使用で故障が生じた場合には、保証書記載の条件に基づき無償修理いたしますので、当社もしくは販売店に修理を依頼ください。

製造番号		お客様氏名
お買い上げ日	年 月 日	
保証期間	お買い上げ日より1年間	

販売店



Suisonia株式会社

〒807-1263福岡県北九州市八幡西区金剛3-5-56